

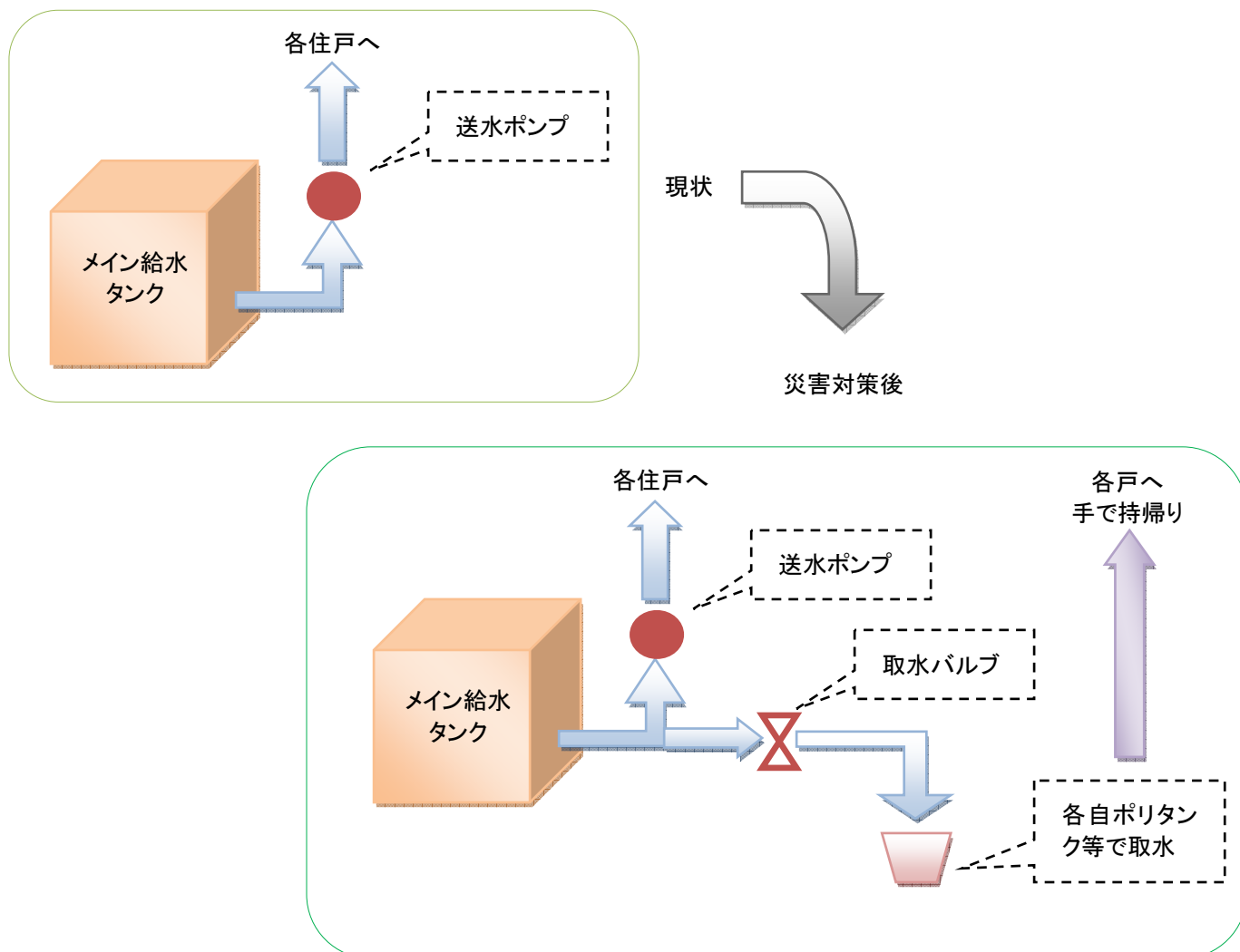


緊急時用給水設備設置

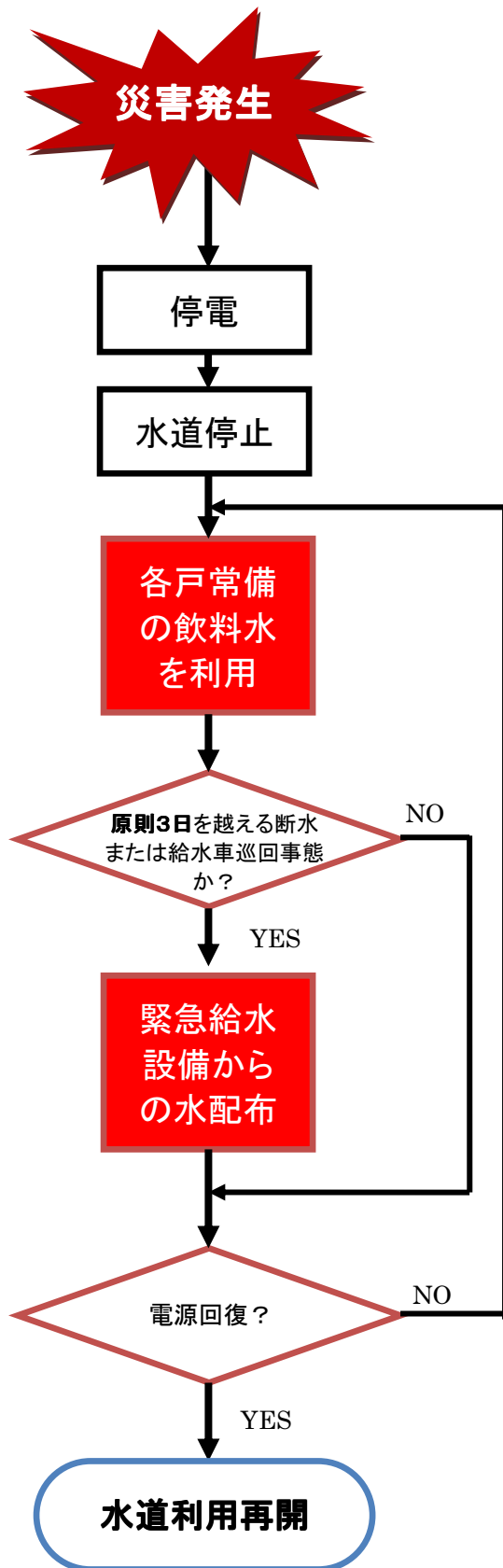
2016年1月、クラブハウス地下のメイン給水タンク
(全棟への水道水の貯水用タンク)に、緊急時給水設備を設置します。

パークシティ白岡の水道設備は、被災時など、電力供給が断られた時、住居への水を送る「送水ポンプ」が駆動できなくなり、水道が停止します。電力回復までの間は、各戸での保存水ペットボトル等の水を飲料水として使用します。最低3日分の確保を推奨しますが、それを越える期間に及ぶ停電時の対策として、クラブハウス地下のメイン給水タンクに取水バルブを設置し給水タンクから直接水を取り出せるよう災害対策設備を強化します。

【イメージ図】 クラブハウス地下内の設備



飲料水は各戸で常備を！



災害直後は、各戸に備蓄した食料・飲料水以外、補給されないと想定してください。

最低3日分の常備を！

原則3日を超える断水が続く場合や給水車が巡回するような事態になった場合は、災害対策本部の決定に従って、各戸への水の配布を開始します。
停電中となる為、各自容器を準備し徒歩での運搬が必要です。

原則3日以内に電源が回復した場合は、平常に水道を利用できますが、**水道局からの主管送水が断たれている場合は、災害対策本部の「飲料水に限定するなど」の指示に従って水道の利用を再開してください。**